

全国学習状況調査(国語・数学)の結果分析

国語

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	神奈川県(公立)	全国(公立)
全体		14	65	65	64.6
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	76.5	79.8	79.8
	書くこと	3	56.9	57.2	57.1
	読むこと	4	51.0	49.6	48.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	77.0	75.6	75.1
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	4	53.2	56.1	56.0
	話す・聞く能力	3	76.5	79.8	79.8
	書く能力	3	56.9	57.2	57.1
	読む能力	4	51.0	49.6	48.5
問題形式	言語についての知識・理解・技能	4	77.0	75.6	75.1
	選択式	6	65.2	64.7	63.9
	短答式	4	77.2	74.8	74.4
	記述式	4	53.2	56.1	56.0

「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質」については、県・全国平均を上回る結果が見られました。また、選択問題や短答式の問題の正答率が全国平均を上回っている一方で、記述問題の正答率が県・全国平均よりも低い結果となりました。国語という教科の枠にとらわれず、自らの考えを文章にする練習をさまざまな場面で取り入れ、「書くこと」の能力の向上を図っていきます。

数学

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	神奈川県(公立)	全国(公立)
全体		16	60	58	57.2
学習指導要領の領域	数と式	5	69.0	65.9	64.9
	図形	4	54.2	54.0	51.4
	関数	3	58.2	56.4	56.4
	資料の活用	4	56.6	53.4	53.8
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	7	46.1	43.2	41.1
	数学的な技能	3	77.9	76.0	77.7
	数量や図形などについての知識・理解	6	67.6	66.3	65.6
問題形式	選択式	2	54.3	53.7	52.4
	短答式	9	71.9	70.5	70.5
	記述式	5	41.3	37.3	35.0

多くの領域や観点において、全国平均を上回る結果が見られました。基礎的な計算分野や長文読解、証明等の文章による説明力の向上が、今後の課題です。授業内で、アクティブラーニング型の授業を効果的に取り入れ、これらの課題をクリアする工夫を進めています。